

2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 アールビバン株式会社

上場取引所 東

コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 執行役員 (氏名) 野澤 克巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画室長 (氏名) 樋口 弘司

TEL 03-5783-7171

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	8,770	7.4	1,994	18.9	1,798	9.1	1,157	40.5
2019年3月期	8,168	13.8	1,677	72.3	1,647	79.9	1,945	264.7

(注) 包括利益 2020年3月期 1,153百万円 (38.8%) 2019年3月期 1,883百万円 (291.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	99.82		9.0	6.6	22.7
2019年3月期	157.01		15.5	6.6	20.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	28,090	12,946	46.1	1,230.11
2019年3月期	26,795	12,887	48.1	1,116.32

(参考) 自己資本 2020年3月期 12,946百万円 2019年3月期 12,887百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	602	231	448	5,521
2019年3月期	1,064	818	156	5,923

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		15.00		35.00	50.00	592	31.8	4.8
2020年3月期		15.00		15.00	30.00	332	30.1	2.6
2021年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00			

2020年3月期中間配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭

2020年3月期期末配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭

2021年3月期中間配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭

2021年3月期期末配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想については、現在精査中であるため、記載しておりません。当該連結業績予想については、算定ができました時点で速やかに開示する予定です。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	12,963,816 株	2019年3月期	15,463,816 株
期末自己株式数	2020年3月期	2,439,512 株	2019年3月期	3,919,112 株
期中平均株式数	2020年3月期	11,594,587 株	2019年3月期	12,394,261 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	5,340	8.8	1,142	26.4	1,438	16.0	994	20.7
2019年3月期	4,909	9.7	904	63.2	1,711	225.8	1,254	293.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	85.79	
2019年3月期	101.23	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	20,101	10,105	50.3	960.24
2019年3月期	18,648	10,207	54.7	884.13

(参考) 自己資本 2020年3月期 10,105百万円 2019年3月期 10,207百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況.....	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方針の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、2019年中におきましては米中貿易摩擦や中東情勢など不透明な世界の政治動向や世界経済の緩やかな減速を背景にした輸出の落ち込み、鉱工業生産の減少などがみられるものの、個人消費は消費税増税や自然災害の影響により下振れつつも、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかに増加いたしました。また、企業収益は下振れ懸念はあるものの堅調であることにより、ゆるやかな景気回復が持続していましたが、2020年に入り、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により大幅なマイナス成長となっております。

このような状況の下、当社グループでは、第36期は年度方針として「進化と向上」を掲げ、中長期的な視点に基づき、人材、組織など経営基盤固めを実践するとともに、「アート関連事業」及び「健康産業事業」において、新規顧客の開拓及び過去に捉われない新たな収益基盤の創造に邁進してまいりました。

基幹の「アート関連事業」におきましては、従来に引き続き、「絵のある豊かな生活（くらし）」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう積極的な営業展開を行うとともに、組織の効率化やコスト削減に努め、収益力の改善に努めてまいりました。

また、「健康産業事業」におきましては、2016年7月より溶岩石を用いた女性専用のホットヨガスタジオ「アミーダ」の展開を開始しており、順次出店（2020年3月末現在42店舗、プレオープンを含む。）を行ってまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、版画等の発送が順調に推移したこと及び版画等の原価率を抑えることができたことに加え、「健康産業事業」におけるホットヨガスタジオ「アミーダ」の出店による売上高の増加及び出店費用が抑えられたことなどにより、売上高8,770百万円（前期比7.4%増）、営業利益1,994百万円（同18.9%増）、経常利益1,798百万円（同9.1%増）となりました。しかしながら、前期においては特別利益に「タラサ志摩ホテル&リゾート」の事業譲渡益1,279百万円の計上がありましたが、当期においては当該計上がなくなったことにより親会社株主に帰属する当期純利益は1,157百万円（同40.5%減）となりました。

（注）デリバティブ取引（株価指数先物取引）は現在行っておりません。

事業の種類別セグメント業績は次のとおりであります。

◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、従来に引き続き、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力し、また、イラスト系グッズ販売におきましては、グッズ専門店やグッズ通販サイトの運営を行い、新規顧客の獲得及び取扱アーティストのブランド化や新作家開発に努め、版画の売上拡大につなげてまいりました。

この結果、版画等の発送（売上）が順調に推移したこと及び版画等の原価率を抑えることができたことなどにより、売上高は5,405百万円（同9.0%増）となり、営業利益は975百万円（同15.6%増）となりました。

◆金融サービス事業

金融サービス事業におきましては、従来に引き続き、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入あっせん事業（以下、クレジット事業といいます）を中心に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は1,321百万円（同8.4%増）となり、営業利益は870百万円（同8.5%増）となりました。

◆健康産業事業

フィットネスクラブ「カルナ フィットネス&スパ 柏」におきまして、従来に引き続き、ホスピタリティ精神を大切にした質の高いサービスの提供及び新規会員の獲得数アップと既存会員の退会防止、客単価の上昇に主眼をおいた営業活動を推し進めてまいりました。

また、前述のとおり溶岩石を用いた女性専用のホットヨガスタジオ「アミーダ」の展開を開始しており、順次出店（2020年3月末現在42店舗、プレオープンを含む。）を行っております。

この結果、売上高は2,059百万円（同24.2%増）となり、営業利益は81百万円（同584.5%増）となりました。

（注）リゾート事業

2018年5月31日付「当子会社における事業譲渡のお知らせ」にて記載いたしましたとおり、当社子会社「TSCホリスティック株式会社」における「タラサ志摩ホテル&リゾート」（三重県鳥羽市）を大江戸温泉物語株式会社へ事業譲渡を致しており、リゾート事業は終了しております（事業譲渡日 2018年10月23日）。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は24,125百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,404百万円増加いたしました。これは主にその他流動資産が443百万円、現金及び預金が402百万円減少したものの、売掛金が1,710百万円、商品及び製品が509百万円増加したことによるものであります。売掛金の増加の要因は、クレジット事業の顧客の取扱高増加によるものであります。固定資産は3,965百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円減少しました。これは主に貸倒引当金が325百万円減少（資産の増加）したものの、その他の投資等が266百万円、投資有価証券が141百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は28,090百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,295百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は12,250百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,821百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が368百万円減少したものの、短期借入金が2,100百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,893百万円となり、前連結会計年度末に比べ583百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が510百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は15,144百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,237百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は12,946百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円増加いたしました。これは主に自己株式の取得により自己株式が566百万円増加（資本の減少）、剰余金の配当により利益剰余金が578百万円減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益が1,157百万円、新株の発行により資本金及び資本剰余金が49百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.1%（前連結会計年度末は48.1%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ402百万円減少し、5,521百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は602百万円（前連結会計年度は1,064百万円の獲得）となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益1,776百万円の計上等の増加要因があったものの、売上債権の増加1,710百万円、たな卸資産の増加517百万円等の減少要因があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は231百万円（前連結会計年度は818百万円の獲得）となりました。

これは主に有価証券等の売却による収入378百万円等の増加要因があったものの、有形固定資産の取得による支出242百万円、有価証券等の取得による支出216百万円、差入証拠金の増加165百万円等の減少要因があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は448百万円（前連結会計年度は156百万円の獲得）となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出2,609百万円、配当金の支払額578百万円等の減少要因があったものの、短期借入金の増加額2,100百万円、長期借入れによる収入1,890百万円の増加要因があったことによります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け大幅なマイナス成長が避けられず、どのように収束していくかは不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは2020年4月度よりスタートした第37期は、まずは、新型コロナウイルス感染症に伴う社会及び経済の不透明な環境下での事業運営に注力するとともに、引き続き、中長期的な視点に基づき、人材、組織など経営基盤固めを実践するとともに、「アート関連事業」及び「健康産業事業」において、新規顧客の開拓及び過去に捉われず新たな収益基盤の創造にチャレンジしてまいります。

(新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の影響及び当該事象による今後の事業等のリスクについて)

2020年5月7日付「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の影響による売上高減少の可能性の発生に関するお知らせ」に記載のとおり、現状においては、主力の版画の展示販売会の開催中止、ホットヨガ事業・フィットネス事業の店舗の休業を余儀なくされており、大きく売上減少の影響を受けております。

当該事象による今後の事業等のリスクにつきましては、緊急事態宣言（休業要請）が解除された場合は、感染防止対策を徹底したうえで、営業を再開する見込みであります。ただし、催事（イベント等）の開催制限や施設の使用制限等が継続し長引いた場合または再度発生した場合には、版画の展示販売会の開催中止、ホットヨガ事業・フィットネス事業の店舗の休業の発生により、売上高が減少する可能性がございます。

2021年3月期の連結業績予想については、現状不確定要素が大きいため、将来予測がある程度見込める状況になった後、当該連結業績予想の算定ができました時点で速やかに開示する予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,948,889	5,546,211
売掛金	11,592,677	13,303,006
商品及び製品	4,089,582	4,599,282
仕掛品	4,703	6,713
原材料及び貯蔵品	38,635	44,225
前払費用	158,448	184,059
その他	975,469	531,582
貸倒引当金	△87,863	△89,567
流動資産合計	22,720,543	24,125,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,210,859	1,453,193
減価償却累計額	△671,343	△737,539
建物及び構築物（純額）	539,515	715,654
土地	538,802	539,486
リース資産	557,261	597,984
減価償却累計額	△49,767	△126,590
リース資産（純額）	507,493	471,393
建設仮勘定	1,991	13,030
その他	295,561	342,571
減価償却累計額	△239,455	△244,525
その他（純額）	56,105	98,045
有形固定資産合計	1,643,908	1,837,610
無形固定資産		
その他	25,278	21,716
無形固定資産合計	25,278	21,716
投資その他の資産		
投資有価証券	522,786	381,181
長期貸付金	838,797	713,023
敷金及び保証金	315,869	343,121
繰延税金資産	339,897	216,223
退職給付に係る資産	4,896	10,748
その他	879,486	612,794
貸倒引当金	△496,363	△171,114
投資その他の資産合計	2,405,370	2,105,978
固定資産合計	4,074,557	3,965,305
資産合計	26,795,100	28,090,818

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	288,243	316,371
短期借入金	2,800,000	4,900,000
1年内償還予定の社債	55,000	55,000
1年内返済予定の長期借入金	1,250,407	1,041,434
リース債務	130,030	141,538
未払法人税等	580,884	212,688
前受金	1,721,031	1,731,912
割賦利益繰延	2,768,072	3,112,195
賞与引当金	44,154	48,782
返品調整引当金	11,935	9,492
店舗閉鎖損失引当金	—	2,478
その他	779,975	679,088
流動負債合計	10,429,735	12,250,983
固定負債		
社債	495,000	440,000
長期借入金	2,123,285	1,612,692
リース債務	489,374	394,997
退職給付に係る負債	105,121	122,905
資産除去債務	118,419	120,911
繰延税金負債	—	7,887
その他	146,529	194,426
固定負債合計	3,477,729	2,893,819
負債合計	13,907,464	15,144,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,656,000	1,680,835
資本剰余金	6,706,301	5,243,587
利益剰余金	6,904,070	7,482,994
自己株式	△2,326,498	△1,405,448
株主資本合計	12,939,874	13,001,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,896	△60,693
退職給付に係る調整累計額	7,658	4,739
その他の包括利益累計額合計	△52,238	△55,953
純資産合計	12,887,636	12,946,015
負債純資産合計	26,795,100	28,090,818

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	8,168,467	8,770,192
売上原価	3,197,669	3,197,030
売上総利益	4,970,797	5,573,162
販売費及び一般管理費	3,293,255	3,578,744
営業利益	1,677,542	1,994,417
営業外収益		
受取利息	15,347	15,981
受取配当金	2,428	2,380
受取保険金	—	23,869
受取補償金	—	25,000
貸倒引当金戻入額	—	580
為替差益	93,398	—
雑収入	14,087	13,154
営業外収益合計	125,262	80,965
営業外費用		
支払利息	33,742	60,889
社債利息	1,401	1,993
社債発行費	16,542	—
為替差損	—	3,277
デリバティブ損失	76,356	165,278
コミットメントフィー	13,500	—
雑損失	13,678	45,902
営業外費用合計	155,222	277,341
経常利益	1,647,582	1,798,041
特別利益		
固定資産売却益	370	973
事業譲渡益	1,279,040	—
資産除去債務戻入益	19,956	—
投資有価証券売却益	—	28,041
特別利益合計	1,299,366	29,015
特別損失		
店舗閉鎖損失	687	8,278
減損損失	141,925	35,497
ゴルフ会員権評価損	—	5,700
固定資産除却損	403	643
特別退職金	10,392	—
特別損失合計	153,408	50,119
税金等調整前当期純利益	2,793,540	1,776,936
法人税、住民税及び事業税	679,246	486,522
法人税等調整額	168,330	133,060
法人税等合計	847,576	619,583
当期純利益	1,945,963	1,157,352
親会社株主に帰属する当期純利益	1,945,963	1,157,352

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,945,963	1,157,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,783	△796
退職給付に係る調整額	3,763	△2,918
その他の包括利益合計	△62,020	△3,715
包括利益	1,883,943	1,153,637
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,883,943	1,153,637
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,656,000	6,706,301	5,338,010	△1,515,157	12,185,155
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△379,903		△379,903
親会社株主に帰属する当期純利益			1,945,963		1,945,963
自己株式の取得				△811,341	△811,341
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,566,059	△811,341	754,718
当期末残高	1,656,000	6,706,301	6,904,070	△2,326,498	12,939,874

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	5,887	3,894	9,782	12,194,937
当期変動額				
新株の発行				—
剰余金の配当				△379,903
親会社株主に帰属する当期純利益				1,945,963
自己株式の取得				△811,341
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△65,783	3,763	△62,020	△62,020
当期変動額合計	△65,783	3,763	△62,020	692,698
当期末残高	△59,896	7,658	△52,238	12,887,636

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,656,000	6,706,301	6,904,070	△2,326,498	12,939,874
当期変動額					
新株の発行	24,835	24,835			49,670
剰余金の配当			△578,429		△578,429
親会社株主に帰属する当期純利益			1,157,352		1,157,352
自己株式の取得				△566,500	△566,500
自己株式の消却		△1,487,549		1,487,549	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	24,835	△1,462,714	578,923	921,049	62,094
当期末残高	1,680,835	5,243,587	7,482,994	△1,405,448	13,001,968

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△59,896	7,658	△52,238	12,887,636
当期変動額				
新株の発行				49,670
剰余金の配当				△578,429
親会社株主に帰属する当期純利益				1,157,352
自己株式の取得				△566,500
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△796	△2,918	△3,715	△3,715
当期変動額合計	△796	△2,918	△3,715	58,378
当期末残高	△60,693	4,739	△55,953	12,946,015

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,793,540	1,776,936
減価償却費	144,740	187,216
減損損失	141,925	35,497
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△27,752	863
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,004	4,628
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△952	△2,443
退職給付に係る資産・負債の増減額	3,636	7,725
受取利息及び受取配当金	△17,777	△18,362
資金原価及び支払利息	68,261	85,606
受取保険金	—	△23,869
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△28,041
投資事業組合運用損益 (△は益)	4,091	6,469
デリバティブ損益 (△は益)	76,356	165,278
ゴルフ会員権評価損	—	5,700
店舗閉鎖損失	687	8,278
為替差損益 (△は益)	△19,301	17,790
事業譲渡損益 (△は益)	△1,279,040	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,333,628	△1,710,328
たな卸資産の増減額 (△は増加)	162,678	△517,300
前払費用の増減額 (△は増加)	16,594	△11,167
長期未収入金の増減額 (△は増加)	39,771	4,027
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,858	28,127
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	314,006	344,123
前受金の増減額 (△は減少)	300,717	10,880
その他	△25,098	△154,081
小計	1,340,595	223,554
利息及び配当金の受取額	18,369	17,775
利息の支払額	△68,000	△88,265
保険金の受取額	—	112,523
法人税等の支払額	△226,931	△867,617
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,064,032	△602,029
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25,000	—
有形固定資産の取得による支出	△862,709	△242,952
有形固定資産の売却による収入	1,700	—
事業譲渡による収入	1,477,687	—
投資有価証券の取得による支出	△195,732	△216,893
投資有価証券の売却による収入	—	378,720
差入証拠金の純増減額 (△は増加)	661,769	△165,278
貸付けによる支出	△280,000	△1,000
貸付金の回収による収入	134,999	126,773
無形固定資産の取得による支出	△8,689	△14,265
敷金及び保証金の差入による支出	△50,596	△67,160
敷金及び保証金の回収による収入	18,171	18,593
その他	△52,841	△47,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	818,758	△231,326

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△62,500	2,100,000
リース債務の返済による支出	△48,041	△148,993
長期未払金の返済による支出	△46,182	△62,185
長期借入れによる収入	2,320,000	1,890,000
長期借入金の返済による支出	△1,468,170	△2,609,566
社債の発行による収入	550,000	—
社債の償還による支出	—	△55,000
自己株式の取得による支出	△811,341	△566,500
配当金の支払額	△381,635	△578,308
セール・アンド・リースバックによる収入	—	479,020
セールアンド割賦バック取引による収入	104,034	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	156,163	448,466
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,301	△17,790
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,058,256	△402,678
現金及び現金同等物の期首残高	3,865,636	5,923,893
現金及び現金同等物の期末残高	5,923,893	5,521,214

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

当連結会計年度より、従来、「売上原価」に計上していた健康産業事業の費用の一部を「販売費及び一般管理費」に計上する方法に変更しております。この変更は、ホットヨガ事業の業容拡大により費用について売上高との対応関係の見直しを行い、売上総利益をより適切に表示するために行ったものであります。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「売上原価」に表示しておりました147,917千円を「販売費及び一般管理費」として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に営業統括を置き、アート関連事業を中心に事業活動を展開しております。

従って、当社は営業統括を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「アート関連事業」、「金融サービス事業」、「リゾート事業」及び「健康産業事業」の4つを報告セグメントとしております。

「アート関連事業」は版画・絵画・美術品の購入及び販売事業、「金融サービス事業」は割賦販売斡旋事業及び融資事業、「リゾート事業」はリゾートホテルの運営、「健康産業事業」はヨーガスタジオ及びフィットネスクラブ等の営業をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1. 2. 3)	連結 財務諸表 計上額 (注4)
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	4,959,722	1,204,093	346,670	1,657,979	8,168,467	—	8,168,467
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	14,822	13,332	—	28,154	△28,154	—
計	4,959,722	1,218,916	360,003	1,657,979	8,196,622	△28,154	8,168,467
セグメント利益 又は損失 (△)	844,254	802,293	△23,682	11,835	1,634,701	42,840	1,677,542
セグメント資産	5,885,581	12,177,343	238,531	2,399,885	20,701,341	6,093,759	26,795,100
その他の項目							
減価償却費	19,852	12,953	5,963	105,771	144,541	198	144,740
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	6,594	920	374	925,048	932,936	—	932,936

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額42,840千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント資産の調整額6,093,759千円は全社資産であり、親会社での余資運用資金（現金預金）及び長期投資資金（投資有価証券）等であります。

3. 減価償却費の調整額には、全社資産に係る費用が含まれております。

4. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注1.2.3)	連結 財務諸表 計上額 (注4)
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	5,405,814	1,305,076	—	2,059,301	8,770,192	—	8,770,192
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	16,374	—	—	16,374	△16,374	—
計	5,405,814	1,321,450	—	2,059,301	8,786,566	△16,374	8,770,192
セグメント利益	975,885	870,612	—	81,016	1,927,514	66,903	1,994,417
セグメント資産	6,639,864	14,033,120	—	1,973,672	22,646,657	5,444,161	28,090,818
その他の項目							
減価償却費	21,146	14,548	—	151,344	187,039	175	187,215
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	41,850	10,400	—	400,065	452,315	—	452,315

(注) 1. セグメント利益の調整額66,903千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント資産の調整額5,444,161千円は全社資産であり、親会社での余資運用資金（現金預金）及び長期投資資金（投資有価証券）等であります。

3. 減価償却費の調整額には、全社資産に係る費用が含まれております。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

(単位：千円)

	アート関連 事業	金融サービス 事業	リゾート 事業	健康産業 事業	調整額	合計
減損損失	—	—	374	141,551	—	141,925

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位：千円)

	アート関連 事業	金融サービス 事業	リゾート 事業	健康産業 事業	調整額	合計
減損損失	—	—	—	23,298	12,199	35,497

(注) 調整額には、全社資産に係る費用が含まれております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）		当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	
1株当たり純資産額	1,116円32銭	1株当たり純資産額	1,230円11銭
1株当たり当期純利益	157円01銭	1株当たり当期純利益	99円82銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

（注） 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	1,945,963	1,157,352
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益（千円）	1,945,963	1,157,352
期中平均株式数（株）	12,394,261	11,594,587

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

該当事項はありません。

(2) その他

該当事項はありません。